

# CASBEE® 京都-新築

# 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2011年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)河原町四条マンション	階数	地上11F地下1F
建設地	京都府京都市河原町通四条下る二	構造	RC造
用途地域	防火地区、31m高度地区。旧市街地	平均居住人員	710 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 0.0	評価の実施日	2013年6月17日
敷地面積	2,998 m <sup>2</sup>	作成者	㈱東洋設計事務所 濱井伸吉
建築面積	2,167 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	17,591 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 71%  
③上記+②以外の 71%  
④上記+ 71%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
地域環境及び周辺環境への配慮を行っている。		
<b>Q1 室内環境</b> 内装工事等に使用する建材についてはF☆☆☆☆を使用し、化学物質の発生に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 躯体材料の耐用年数が長くなるよう配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内の植栽の配置や駐車スペースの植栽ブロック採用等、良好な景観形成するよう配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光発電システムを採用し、共用部の電気を作り出している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 汚染物質含有材料の使用を回避するよう配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 自転車置き場や駐車スペースを適正に確保し、地域インフラへの負荷抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される